

## 差別のない世界

小 五

「ダウンしようこう群」という言葉を知っていますか。ぼくのいとこのお兄ちゃんは、「ダウンしようこう群」というしような害があります。

調べると、「ダウンしようこう群」とは、二十一番目のせん色体のい常で、知的しような害、小頭しよう、低身長などのしような状が現れるそうです。また、くつきりとした二重まぶた、低い鼻、まっすぐな後頭部など、見た目にも特ちようがあります。どの国でも八百人から千人に一人の割合で生まれているそうです。

お兄ちゃんは、二十九さいです。い

つでもぼくやぼくの兄にやさしく話をしてくれれます。「ダウンしようこう群の子は天使」とよく言われます。それは、表情がおだやかでいつも笑っているように見えるからだと言いました。お兄ちゃんの表情もいつもすてきです。八年前になくなったおじいちゃんは、初孫だったお兄ちゃんのことを、とてもかわいがっていたそうです。また、周りのみんなからとても愛されています。

お兄ちゃんは、大好きなキャラクターのぼうしをかぶったり、毎日そのキャラクターのマスクをしたりして仕事に行っています。サッカーとダンスがとてもうまくて、ぼくと兄と公園で遊んでくれます。ぼくが小さいころから、会うといつも頭をやさしくなでてくれ

ました。今のぼくとお兄ちゃんのあいさつは、ぼくから手を出しハイタッチをするというものです。ぼくは、お兄ちゃんとのこのあいさつが大好きです。食べ物も好ききらいなく、何でも美味しそうに食べます。やさしいお兄ちゃんは、働いているところで育てているトマトをほくたちにくれて、ぼくはきらいだったトマトが食べられるようになりました。

お兄ちゃんは、時々、自分で気持ちをおさえることができなくなり、大声を出したり、テーブルをたたいたりすることがあるけれど、時間が経つとおさまります。「しょう害がある人」というだけで、変な目で見ないでください。お兄ちゃんは、話し方が少しゆっくりだけれど、ちゃんと聞いていると

会話もできます。その行動の理由が分かりにくいこともあるけれど、よく聞いたり、見たりしていると、お兄ちゃんなりの理由があるのです。「しょう害があるから何かをしてあげないと」、「助けないと」とむずかしく考えなくていいのだと思います。お兄ちゃんがここにいてくれるだけでぼくたちは幸せな気持ちになるからです。

お母さんが好きなあるお笑い芸人さんの、「生きてるだけで丸もうけ」という言葉を、前にテレビで聞きました。その言葉をもとに、兄が作った標語があります。「だれだって生まれたときからたから物」、「そう、みんなたから物だと思いませんか。ぼくは、両親からたから物だと言ってもらえてうれしかったです。一人一人が特別でかけが

えのないそんな在だと考えられる世界になれたら、しょう害者差別だけでなく、人種差別や男女差別、いろいろな差別がなくなると思います。そして、そんな世界になることをぼくは願います。

「ダウンしようこ群」お兄ちゃん  
は、毎日、元気に仕事に行っています。  
ぼくはこれからもそんなお兄ちゃんを  
見守り、お兄ちゃんのペースでいっし  
よに歩いていけたらと思います。